



令和7年 年頭のごあいさつ

市民の皆さまとの対話を大切に 新しい時代にふさわしいまちづくりを

佐世保市長 宮島 大典

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまには、健やかに新春をお迎えのことと存じます。また、日頃から市政の運営に格別のご理解、ご協力をいただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

市民の皆さまにとって、昨年はどうのような1年だったでしょうか。昨年を振り返りますと、能登半島地震をはじめとする自然災害や不安定な世界情勢、物価の高騰、エネルギー問題など、私たちの生活を取り巻く環境は依然として厳しいものでした。一方で、コロナ禍の影響をようやく抜け出し、社会経済活動が再び活気を取り戻した年でもあったように思います。

市政におきましては、令和6年4月から「つながる想い」とともに創る「SASEBO」をキャッチフレーズに、第7次佐世保市総合計画（後期基本計画）をスタートさせ、その計画に基づく政策・施策を推進するために、組織の再編を行いました。さらに、

「子育て」「産業」「地域資源」「文化」を4つの柱とする「『選ばれるまち SASEBO』を創るシティブランド・プロジェクト」を始動させ、市民の皆さまと共に、本市の可能性や魅力を最大限に生かし、未来に向けた取り組みを進めています。

主な取り組みとしては、市立中学校第3学年および義務教育学校第9学年の給食費の無償化や、第2子以降の保育料の一部無償化、特定不妊治療の支援など、「子育て世代にやさしいまち」を目指した支援の充実を図りました。

本市の発展に向けた取り組みの1つとしては、浦頭地区の旅客ターミナル「佐世保クルーズセンター」が供用開始され、6月にはクルーズ客船の受け入れをスタートしました。また、クルーズ客船の受け入れに併せて佐世保港で開催したイベントなどの新たな取り組みが評価され、12月には「クルーズ・オブ・ザ・イヤー2024」で特別賞を受賞することができました。

文化・スポーツ面では、プロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」とマザータウン協定を結んだほか、文化とスポーツ（ダンスとスケートボード）を融合させた「SASEBO ストリートカルチャーフェスティバル」を開催するなど、文化やスポーツで市民の皆さまが楽しめるまちづくりを進めました。

10月には、実現したい夢を持つ若者と、それに共感した市内外の仲間や応援したい大人をつなげるオンラインコミュニティ「サセボクロスSASEBO X」の運用を開始し、「日本一、若者の夢を後押しするまち」の実現に向けて取り組みを進めています。

令和7年度においては、中学校給食費の無償化の対象拡大や不妊治療に関する市独自支援の拡充、三浦地区におけるまちづくりの推進、県立宇久高校における離島留学制度の導入などの検討を進め、さまざまな事業にしっかりと取り組んでまいります。

また、本年は大きなイベントも予定されています。3月には、九十九島を含む「西海国立公園」が、国立公園に指定されて70周年を迎えます。この節目を記念し、一年を通じて新たな話題やにぎわいを創出していきたいと考えています。9月には、全国規模の文化の祭典「ながさきピース文化祭2025（第40回国民文化祭・第25回

全国障害者芸術・文化祭）」が長崎県で初めて開催され、開会式がアルカス SASEBO で行われる予定です。10月には、国際自転車競技連合（UCI）公認のサイクルロードレース「ツール・ド・九州2025」のクリテリウム（エキシビジョンレース）が本市で開催されます。その他にも、昨年文部科学大臣によって国の特別史跡に指定された福井洞窟に関するイベントも予定しています。

今後も市政に対する私の基本姿勢である「市民の皆さまとの対話」を大切に、車座集会「M Café」などを通じて皆さまの声をしっかりと聞きながら、新しい時代にふさわしいまちづくりを進めてまいります。引き続き、皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆さまにとって輝かしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



SASEBO 99 Talk
M Café



市長公式 YouTube
NEWS M SASEBO

令和6年4月に行った組織の見直し

●「経済部」の新設

産業振興と新たな雇用創出が連携した一層の取り組み強化を図り、本市経済のさらなる好循環を生み出すため、観光商工部と企業立地推進局を統合

●「文化スポーツ部」の新設

文化やスポーツの力を最大限生かすことで、活力や生きがいを育み、自由で心豊かな市民生活を実現するため、企画部文化国際課と教育委員会教育総務部スポーツ振興課および図書館を一元化

●「地域未来共創部」の新設

まちの魅力や価値を高め、住み続けたいまちづくりや、若者の定着、定住人口の増加を図るため、企画部地域政策課、地域交通課、宇久行政センターと、定住・若者に係る施策を所管する新設課「若者活躍・未来づくり課」を一元化

●「行政経営改革部」の新設

人口減少社会到来による働き手不足および市民ニーズの多様化に対応する、新たな行政運営の方法を構築するため、行財政改革推進局とDX推進室を統合



7月に行われた「中高生による地域づくりプロジェクト in SASEBO」で学生たちと意見交換をする市長



市長公式 YouTube チャンネル「NEWS M SASEBO」のシリーズ「佐世保市長がやってみた」でカヤックを体験する市長